

CURE & CARE

誠道会
GROUP

VOL.11

2024
新年号

頌春

誠道会グループ100周年 100周年記念式典・祝賀会を開催

サインや
看板が
新しく
なりました

CONTENTS

- ◆ 理事長あいさつ
磯野 倫夫 理事長
- ◆ 誠道会グループ100周年
100周年記念式典・祝賀会
100年の歴史
- ◆ 各施設の案内
各務原リハビリテーション介護医療院
- ◆ リハビリ部門の案内
在宅の方がご利用いただける
リハビリ
- ◆ Information NEWS
各務原リハビリテーション病院
外来診療について



令和6年元旦のご挨拶

医療法人社団 誠道会
社会福祉法人 成光会
理事長 磯野 倫夫

あけましておめでとうございます。

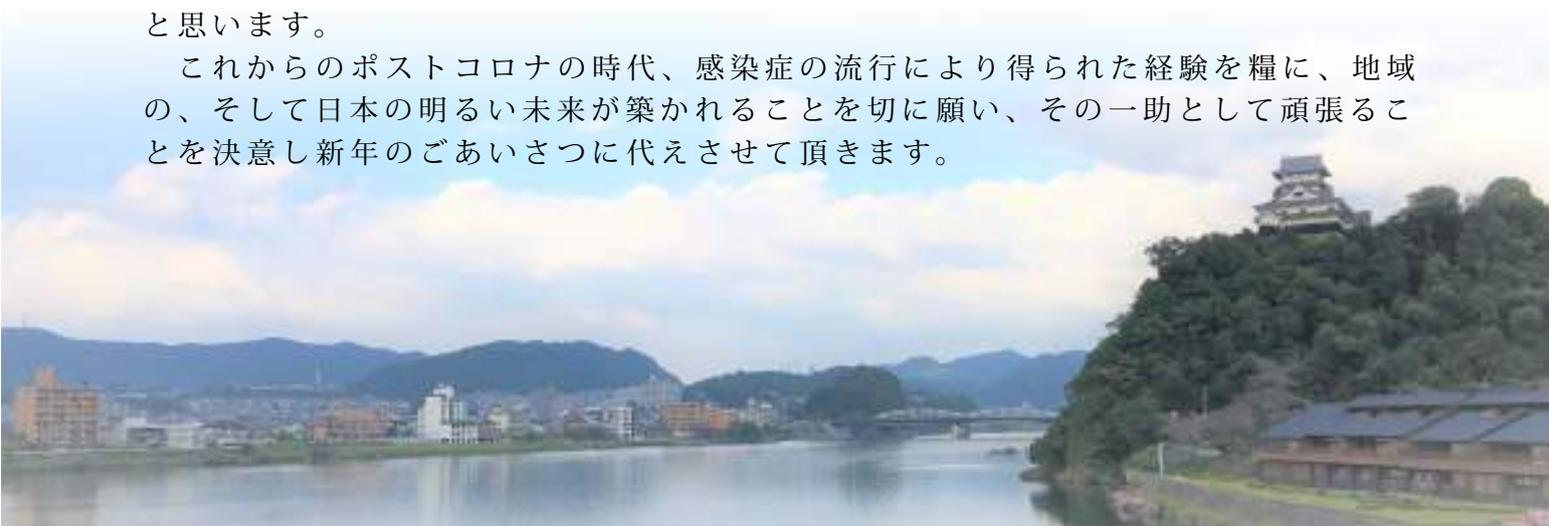
令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID19）が5類感染症に移行し、社会全体が流行前の落ち着きを取り戻すに伴い、医療・介護現場も以前の日常を取り戻してきました。

ここ数年の感染症対策の一環で大きく変わったことがあります。それは、日本の医療・介護施設で遅れていたといわれるデジタル化やITの推進です。人との接触を少なくすることの必要性からwebでの会議などが一般的になりました。いろいろな問題は指摘されていますが、マイナンバーと保険証の紐づけも始まりました。ワクチン接種に伴う手続きや管理も、各医療機関から直接、厚生労働省のサーバーにアクセスするシステムが構築されました。

最近、若い人たちが立ち上げたIT関連の会社を訪問しましたが、社員は出社することなくリモートワークで業務を行う事も多いそうです。実際、その会社にはパソコンを置いたテーブルが多くありましたが、出社している社員は少なく、多くの社員がリモートワークと思われました。翻って日本の医療や介護の世界におけるリモートワークはまだまだ未来の話です。その始めの一步と思われる診療形態として、厚生労働省よりwebを利用した「オンライン診療の指針」が示されました。この様に現在の科学技術でも、さらなるデジタル化やIT技術を利用して効率化を図ることは可能です。特に慢性期や維持期においては、見守りや他の医療機関や介護施設や家族との情報のやり取りは、デジタル化やITを活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める事で大きな効率化が望めます。そのためにはDXを意識した医療保険制度や介護保険制度を構築して頂きたいと切に願うところです。

保険制度以外にも人権問題や個人情報保護法や医師法や療養担当規則など、多くの制度や法律のなかで運営されているのが日本の医療・介護施設です。DXの推進を医療・介護施設に任せるのではなく、各省庁が垣根を越えて積極的に世論形成を行い、DXを見据えた医療・介護保険制度改革を進めていかないと、超高齢化社会を迎えた日本の医療と介護の合理化は進むことなく、結果的に日本自体の国力の低下を招くと思います。

これからのポストコロナの時代、感染症の流行により得られた経験を糧に、地域の、そして日本の明るい未来が築かれることを切に願い、その一助として頑張ることを決意し新年のごあいさつに代えさせていただきます。



誠道会グループ 100周年

100年続く理念で未来を切り開く

これまでの歴史から培った知識や人材・設備を遺憾なく発揮し
一人ひとりの患者様・利用者様を複数の医療従事者が守る

2023年8月20日（日）、ホテルインディゴ犬山有楽苑にて「誠道会グループ100周年記念式典・祝賀会」が開催され、理事及び職員120名が節目を祝いました。

この式典は新型コロナウイルス感染症の流行にともない、100年目から3年を経て行われましたが、参加者にとって楽しい時間となり笑顔で談笑する姿が多くみられました。

式典冒頭の理事長のあいさつでは、今後の100年を維持していくための想いを以下のとおり述べました。

1. 少子高齢化により職員の確保が難しい状況下、多人種・多文化に寛容となり、海外からの人材を今後も積極的に受け入れていくこと
2. 地域の医療ニーズに応えるため、小児医療を含む1次救急を強化し、救急医療を提供できる体制を近い将来 整えること
3. 全ての職員が「やりがい」や「生きがい」を自分自身で考え見つけることができる職場環境にすること
4. 患者様や利用者様に良質な医療や介護を提供するための意見を積極的に取り入れていくこと

また、副理事長からはすべてのスタッフに対して労いの言葉と、これからも誠道会グループを支えてほしいとのあいさつがあり、記念式典・祝賀会は閉会しました。



理事長 磯野 倫夫



誠道会グループ100年の歴史

- ◆大正9年
現理事長の祖父である磯野誠道が出身地である岐阜県各務原市羽場町にて医院を開業
- ◆昭和初期
羽場町から山崎町7丁目に「日本ライン養生院（サナトリウム）」を開業
太平洋戦争が起き入院事業は中断するも外来診療は継続
- ◆昭和32年
誠道の死去に伴い、現理事長の父である磯野成光が「いその医院」に改称し再開
- ◆昭和60年
成光の死去に伴い、磯野倫夫が院長となる
- ◆昭和61年
倫夫の臨床研鑽のため、「いその医院」を一時休院
- ◆平成6年
「いその医院」を山崎町3丁目に移転開業し再開
- ◆平成8年12月
「医療法人社団いその医院」を設立
- ◆平成11年7月
同所にて「訪問看護ステーションあすか」を開業（現在は廃止）
- ◆平成15年11月
同市鵜沼東町にて「グループホーム菜の花」を開業
- ◆平成16年5月
同市鵜沼東町に「デイサービスセンター菜の花」（現在は廃止）
および「介護相談センター菜の花」を開業
- ◆平成17年2月
医療法人社団の法人名変更により、「医療法人社団 誠道会」となる
- ◆平成19年6月
同市山崎町6丁目8-2に本部建物を移転開業し、以下を開業
 - ・有床診療所「新鵜沼ケアクリニック」
 - ・「介護老人保健施設菜の花」
 - ・「デイケアセンターみつばち」
 - ・「リハビリセンターeポイント」（現在は廃止）以下を移転開業
 - ・「介護相談センター菜の花」
 - ・「訪問看護ステーションあすか」（現在は廃止）
- ◆平成20年5月
同市鵜沼東町に「小規模多機能型居宅介護施設菜の花」を開業（現在は廃止）
- ◆平成22年7月
本部に「外来リハビリテーション部門」を開業
- ◆平成22年9月
本部に「訪問リハビリテーション部門」を開業
- ◆平成23年12月
有床診療所「新鵜沼ケアクリニック」を病院へ転換
「各務原リハビリテーション病院」を開業
本部に「各務原リハビリ透析センター」を開業
- ◆平成28年3月
本部に「24時間定期巡回随時対応型訪問介護看護あすか」を開業
- ◆平成28年10月
「社会福祉法人成光会」を設立
- ◆平成29年4月
同市鵜沼東町に「山田記念クリニック」開設
（現在は開設者変更）
同市鵜沼山崎町に事業所内保育施設「託児所ひまわり」を開業
- ◆平成29年12月
同市鵜沼山崎町に「特別養護老人ホーム菜の花」を開業
- ◆令和元年6月
同市鵜沼東町に事業所内保育施設「託児所菜の花」を開業
- ◆令和4年2月
医療法人社団誠道会を開設者とする山田記念クリニックを閉院
- ◆令和4年4月
「介護老人保健施設菜の花」を介護医療院へ転換
「各務原リハビリテーション介護医療院」を開業



磯野 誠道



日本ライン養生所



磯野 成光



初代のいその医院



山崎町3丁目に移転したいその医院



現在の医療法人社団 誠道会本部



特別養護老人ホーム菜の花



グループホーム菜の花



その人らしい生活の実現に向けて

各務原リハビリテーション介護医療院

副施設長 荒引 真由美

医療ニーズの増加に伴い、「各務原リハビリテーション介護医療院」となって2年が経とうとしています。医師を中心としたケアチームの活性化を図り、その人らしい生活の場として、医療と看護・介護・リハビリテーションの総合的な提供に努力いたしております。

特に、「自立支援」「認知症ケア」「ターミナルケア」を3本の柱として、職員研修を充実させ、「その人らしい生活の実現」に力を注いでまいります。

認知症ケア

平等な存在
優しさ・親密さ
正直さ・信頼感
を伝える支援



自立支援

その方の残存機能を
活用し、
その方の潜在能力を
引き出す支援



ターミナルケア

苦痛の軽減
とともに
「さみしい思い」
をさせない



介護医療院Q&A

○介護医療院とは

「日常的な医学管理」や「看取り・ターミナルケア」等の医療機能と、「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設です。長期にわたり療養が必要な要介護者に対し、「長期療養のための医療」と「日常生活上の支援」を一体的に提供します。

○介護医療院の理念とは

「介護医療院」は「住まいと生活を医療が支える新たなモデル」として創設された施設であり、「利用者の尊厳の保持」と「自立支援」を理念に掲げ、「地域に貢献し、地域に開かれた交流施設」として役割を担うことが期待されています。また、「看取り・ターミナル」を支えることも重要な役割となっています。

○病院との違いは

介護医療院は病院ではなく、長期療養を受けながら生活する施設ですが、医師や看護師の配置が義務付けられており、医療を提供することができます。病院や診療所から状態が安定された方をご紹介いただき、長期にわたって暮らしていただく施設となります。

○どのような設備

療養室の定員は4人以下で、パーテーションを設置する等、入所者のプライバシー空間に配慮し、長期療養にふさわしい施設となっています。また、食堂、レクリエーションルーム、機能訓練室などが設けられています。

○どのようなサービス

日常生活に必要な医療処置や看護、介護、リハビリテーション等を提供し、入所者の方の能力に応じ、自立した日常生活を営むことを支援します。

○どのような人が利用できる

要介護1～5の方であって、病院に入院するほどでもないものの、例えば、喀痰吸引や経管栄養等の日常的・継続的な医学管理等の理由により、在宅や他の介護保険施設等で支えることが難しい方などが想定されます。

○利用料金は

入所者の方の要介護度と施設サービス内容により、介護報酬上の単位が定められています。また、居住費、食費については施設との契約額となります。（低所得の方は負担軽減の対象となります。）

○最後までいられるのでしょうか

看取りやターミナルケアの対応も介護医療院の機能の一つとなっています。



4階：食堂・談話室



すごくあったまる
機械浴と大きな一般浴



5階：特室

色々なアクティビティを行っています





身体状態や生活環境に沿った リハビリを提供

外来・訪問・通所リハビリ部門

医療法人社団 誠道会が提供する生活期リハビリテーション

当法人には

- ・外来リハビリ：各務原リハビリテーション病院 外来リハビリテーション
- ・訪問リハビリ：各務原リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション
- ・通所リハビリ：デイケアセンターみつばち

のサービスがあり、**患者様・利用者様の身体状態や生活環境に沿ったリハビリ**を提供しています。



外来リハビリ

対象者

脳血管疾患：脳梗塞・脳出血 等
神経難病：パーキンソン病・脊髄小脳変性症・ALS 等
運動器疾患：骨折や変形性関節症 等
その他：摂食・嚥下障害
高次脳機能障害 等

サービス内容

- ・個別リハビリ（筋力訓練・ストレッチ 等）
- ・物理療法（電気刺激治療・体外衝撃波治療 等）
- ・言語聴覚療法：高次脳機能訓練、発声訓練、構音訓練、摂食・嚥下訓練 等

訪問リハビリ

対象者

- ・要支援・要介護認定を受けられた方
- ・かかりつけ医から「訪問リハビリテーションが必要」と認められた方

サービス内容

- ・個別リハビリ（筋力訓練・ストレッチ 等）
- ・在宅の環境下での訓練（例：階段や段差の昇降）
- ・福祉用具の提案
- ・ご本人様・ご家族様への介助方法などの提案

等

通所リハビリ

対象者

- ・要支援・要介護認定を受けられた方

サービス内容

- ・個別リハビリ（筋力訓練・ストレッチ 等）
 - ・マシントレーニング
 - ・集団体操
 - ・アクティビティ
 - ・送迎サービス
 - ・昼食提供（1日利用）
 - ・入浴（1日利用）
- ※半日利用と1日利用の2種類の利用方法があります

外来リハビリテーション



訪問リハビリテーション



デイケアセンターみつばち



平日の午後
祝日の午前
の診療も
行っています

各務原リハビリテーション病院の 外来診療について



これまで新型コロナウイルスの感染拡大防止のため祝日の外来診療を休診しておりましたが、令和5年8月より、午前のみではありますが祝日の外来診療を再開しております。お仕事の都合等で平日の来院が難しい方などで当院での診療をご希望の方につきましては、ぜひご利用いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、再診の患者様を対象としたオンライン診療も開始しております。当院で定期受診されている方で、オンライン診療をご希望の方は、主治医または受付スタッフまでご相談ください。

診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	—	—	○
13:00~17:00	○	○	○	○	○	—	—	—

診療科目

内科／循環器内科／腎臓内科／糖尿病代謝内科／消化器内科／脳神経内科／リハビリテーション科

受付時間

8:30~16:30 (土・日・祝日の午後を除く)

お問い合わせ

各務原リハビリテーション病院
☎ 058-384-8485

基本担当医表

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 予約制	磯野倫夫 糖尿病代謝内科 総合内科	大塚博巳 整形外科 リハビリテーション科		和座雅浩 脳神経内科 総合内科 大塚博巳 整形外科 リハビリテーション科	岸雅也 糖尿病代謝内科 総合内科 伊苅弘之 老年内科	—	—	—
午前 予約無	棚瀬将光 リハビリテーション科 総合内科	大学医師 糖尿病代謝内科	和座雅浩 脳神経内科 総合内科 田ノ井千春 脳神経科	岸雅也 糖尿病代謝内科 総合内科	田ノ井千春 脳神経科	—	—	担当医
午後 予約無	磯野直子 総合内科	磯野直子 総合内科	磯野直子 総合内科	磯野直子 総合内科	磯野直子 総合内科	—	—	—

